

参加者へのご案内

1. 参加受付について

◆事前参加登録がお済みの方へ

<8月10日までに参加登録費のお支払いを完了された方>

事前に①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集引換券、コンgresバッグ引換券をお送りしております。参加証を必ずご着用の上、ご来場ください。ネームカードホルダーは受付付近の記名台にご用意しております。参加証のない方の入場は、固くお断りいたします。大会プログラム集とコンgresバッグは当日お渡ししますので、名古屋国際会議場 1号館1階の「プログラム集・コンgresバッグ引換所」にお立ち寄りください。

<8月11日以降に参加登録費のお支払いをされた方>

①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集引換券、コンgresバッグ引換券は、当日会場の「事前参加登録受付」でお渡しします。

<海外からの参加者の方>

①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集引換券、コンgresバッグ引換券は、当日会場の「海外参加者受付」でお渡しします。

◆当日参加登録をされる方へ

当日参加登録をされる方は、名古屋国際会議場 1号館1階の「当日参加登録受付」にてご登録ください。記名台に用意しております「Registration Form」に必要事項をご記入の上、当日参加登録受付へお越しください。お支払いは全て現金にてお願いいたします。

●参加費と引き替えに①参加証(ネームカード)、②大会プログラム集引換券、コンgresバッグ引換券をお渡しいたします。会場内では、必ず参加証をご着用ください。

●参加費は下記の通りです。

[会 員]

- ・一 般 17,000円(不課税)
- ・大学院生 2,000円(不課税)
- ・学部学生 無 料

[非会員]

- ・一 般 20,000円(税込)
- ・大学院生 4,000円(税込)
- ・学部学生 無 料

注1)大学院生および学部学生の方は受付にて学生証をご提示ください。

注2)筆頭著者として発表を行わない学部学生の参加費は無料です。

注3)参加費にランチョンセミナーとランチタイムミニシンポジウムの弁当代は含まれておりません。

◆受付時間

9月18日(火) 7:30~17:30

9月19日(水) 8:00~17:30

9月20日(木) 8:00~19:00

9月21日(金) 8:00~15:30

◆懇親会

本大会の懇親会は、先端で活躍されている研究者、およびこれからそれぞれの分野で活躍しようとする若手研究者(学部学生・大学院生・ポストドク含む)が集い、飲み物を片手に自由に交流できる会として開催します。プレナリー講演者やシンポジウムの演者の先生方にも参加を呼びかけますので、著名な研究者との会話のチャンスでもあります。Travel Award受賞者もお招きしています。世界各国の研究者との情報交換の場としてもご期待ください。

- 日時：9月20日(木) 19:00~20:30
- 会場：名古屋国際会議場 4号館1階 白鳥ホール
- 参加費(当日料金) 一般 5,000円/大学院生 3,000円/学部学生 2,000円

2. 英文抄録

演題登録された方(一部を除く)の英文抄録は大会オンライン抄録集「JNS Meeting Planner」に掲載されます。本大会ホームページ(<http://www.neuroscience2012.jp>)からご覧ください。印刷物としての配布はいたしません。なお、本年からNeuroscience Research (Elsevier)のSupplemental Issueとしての発行は、印刷物/オンライン版とも一切いたしませんのでご了承ください。詳細は、32ページの「19.抄録検索スケジュール作成システムについて」をご参照ください。

3. 専門医・認定医・研修認定薬剤師の研修単位について

本大会への参加は、下記学会の専門医・認定医及び研修認定薬剤師の研修単位取得の対象予定となります。専門医・認定医の先生方はぜひご利用ください。

- 日本神経学会
- 日本精神神経学会
- 日本小児神経学会
- 日本老年精神医学会
- 日本薬剤師研修センター

日本精神神経学会の「専門医資格更新にかかる研修ポイント」の取得は、「日本精神神経学会ポイント取得デスク」(名古屋国際会議場 1号館1階の総合案内)で対応しております。受付スタッフに「精神科専門医認定試験合格者証(ポイントカード)」を提示してください。それ以外の学会については、Neuroscience2012の参加証および領収書を各自で各学会に提出し、単位申請してください。詳細はそれぞれの学会にお問い合わせください。

4. ランチョンセミナー・ランチタイムミニシンポジウムについて

お弁当数に限りがありますので、整理券を開催日の参加受付開始時刻と同時刻から先着順にランチョンセミナー・ランチタイムミニシンポジウム整理券デスク(名古屋国際会議場 1号館2階)にて配布いたします。配布は1人1日1枚となります。なお、参加証(ネームカード)のご提示が必要となります。また、1号館1階イベントホールに弁当販売コーナーを設けております。是非ご利用ください。

5. 教育講演(EL1, EL4-1 & 2)について

9月18日(火)・19日(水)のランチョンセミナーと同時間帯にF会場(会議室234)にて開催する教育講演1・教育講演4は、昼食をとりながらの聴講が可能です。ただし、お弁当は有料販売となりますので、購入希望者はF会場前またはイベントホールにて購入してください。

6. 呼び出し、伝言

会場内でのスライドおよび館内放送での呼び出しは行いません。参加受付付近のインフォメーションボードをご利用ください。

7. クローク

名古屋国際会議場 1号館 1階にクロークを設けますので、ご利用ください。なお、貴重品・傘などはお預かりできませんのでご了承ください。お荷物の受取状況により2・4号館のクロークも順次開設します。

クローク開設時間

- 9月18日(火) 7:30~19:00
- 9月19日(水) 8:00~19:00
- 9月20日(木) 8:00~21:00
- 9月21日(金) 8:00~18:30

8. 企業展示・書籍販売

イベントホール(1号館1階)において企業展示を行います。なお、書籍販売は館内ロビーにおいて行います。

展示時間

- 9月18日(火) 9:00~18:30
- 9月19日(水) 9:00~18:30
- 9月20日(木) 9:00~18:30
- 9月21日(金) 9:00~15:00

9. インターネットについて

イベントホール(1号館1階)および館内ロビーにて無線LANがご利用いただけます。
SSIDは“ncc”です。なお、パスワードはございません。

10. ドリンクコーナーについて

会期中(9月18日~21日)イベントホール(1号館1階)にてドリンクコーナーを設けます。
数に限りがありますのであらかじめご了承ください。

11. 弁当販売コーナー

会期中(9月18日~21日)イベントホール(1号館1階)にてお弁当を販売いたします。是非ご利用ください。

12. お子様連れの参加者の方へ

本大会では「託児室」と「親子休憩室」を設置いたします。「託児室」には保育スタッフが常駐し、保護者の方が大会に参加される間、お子様をお預かりいたします。利用には事前予約が必要です。

●託児室

託児室は、全国保育サービス協会正会員のピジョンハーツ株式会社に委託しております。マットや玩具などを備え、専門の保育スタッフがケアにあたります。

- ・対象：生後3ヶ月~小学6年生まで
- ・開室時間：9月18日(火) 8:30~18:30
9月19日(水) 8:00~19:00
9月20日(木) 8:00~19:00
9月21日(金) 8:00~18:30

※ご予約のない場合、お預かりできない場合がございますのでご注意ください。

- ・開設場所：セキュリティのため、ご利用の方にのみお知らせします。
- ・料金

① 1日料金：一人あたり3,000円

※兄弟での利用は2人目以降半額(2人なら4,500円、3人なら6,000円)

② スポット料金：1時間あたり600円(合計4時間まで)

※5時間以上のご利用は1日料金とさせていただきます。

- 注1)2010年より新たに1日利用枠と兄弟割引を設置し、長時間利用時の負担を抑えました。そのため、スポット利用時の1時間あたりの利用料金は、例年よりも割高になっていますが、ご理解の上、ご了承下さいますようお願い申し上げます。
- 注2)事前予約をされた時間帯には、シッターの配置をしており、人件費が発生します。1日利用、スポット利用ともに、実際の利用時間ではなく、予約分の全額をお支払いいただきますようお願いいたします。なお、やむを得ない事情でお迎えが遅れる等、延長して利用した場合には、その分の利用料金を予約時間分に追加してお支払いください。
- 注3)託児室運営費用の大部分は、他の参加者の皆様の理解と協力を得て、大会予算によってまかなわれています。託児室利用者の皆様にはご不便をおかけする点も多いかと存じますが、限りある予算内で運営している状況をご推察いただき、何卒ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

- ・受付締切：2012年9月5日(水)
- ・支払方法：当日払い(利用最終日に名古屋国際会議場 1号館1階の総合案内にて現金でお支払いください)
- ・利用申し込み方法：
本大会ホームページ(<http://www.neuroscience2012.jp/>)「託児室」のページの内容をご覧の上、ピジョンハーツ株式会社までメールにてお申し込みください。受領後、ピジョンハーツ株式会社より、メールにてご連絡いたします。詳しくは本大会ホームページをご覧ください。
※ご予約内容の変更は、ピジョンハーツ株式会社までご連絡ください。
※保育に関しては万全の体制を整えておりますが、万が一、保育者の責任に帰すべき事故が発生した場合には、ピジョンハーツ株式会社と保育者の2者によりこれを協議し、保険の範囲において対応いたします。
- ・昼食について：
託児室での調理は一切行いません。
原則として、お持ち込みいただいたお弁当・おやつ・飲み物(ビスケット・粉ミルクなど)はお預かりし、介助をいたしますが、冷蔵庫はございませんので、常温保存が可能なものをご持参ください。これにより万が一、食中毒や体調不良が生じた場合については一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

【親子休憩室】

マットや玩具、ついたてなどをご用意しております。お子様とご一緒のお食事や休憩、授乳など、ご自由にご利用ください。事前予約は不要です。親子休憩室に保育スタッフはおりません。ご利用の際は必ず保護者が付き添い、責任を持って安全に留意してください。

- ・開室日時：9月18日(火) 8:30~18:30
9月19日(水) 8:00~19:00
9月20日(木) 8:00~21:00
9月21日(金) 8:00~18:00
- ・開設場所：名古屋国際会議場 会議室213 (2号館1階)
- ・利用料金：無料
- ・その他：親子休憩室での万が一の事故や怪我の場合、委託会社による保険は適用されません。
また学会、本大会及び大会事務局は一切の責任を負いません。

13. 禁止事項

- ・会場内での撮影、録画、録音は禁止となっております。
- ・施設内は禁煙です。
- ・Twitter 等への発表内容の書き込みはお控えください。

14. 関連行事

◆総会

日 時：9月20日(木)18:00~19:00

会 場：会議室131-132 (1号館3階)

総会議事に引き続き、各賞授賞式を行います。

1. 時實利彦記念賞授賞式(受賞者は51ページをご覧ください)
2. 日本神経科学学会奨励賞授賞式(受賞者は52ページをご覧ください)

15. 各種委員会

9月17日(月)

会合名	開催時間	会 場
NSR編集委員会	11:30~13:30	1号館3階 会議室133-134
記者説明会	13:00~14:00	1号館3階 会議室135
理事会	14:00~18:00	1号館3階 会議室131-132
NSR検討委員会	18:30~19:30	1号館3階 会議室131-132

9月18日(火)

会合名	開催時間	会 場
社会脳科学WGミーティング	8:00~ 9:00	4号館3階 会議室433
実験動物使用者会議	12:00~13:00	1号館3階 会議室133-134
第37回日本神経科学大会 (Neuroscience 2014)実行委員会	18:30~19:30	4号館3階 会議室433
ブレインサイエンス振興財団夕食会 (塚原賞授賞式)	19:00~21:00	ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋

9月19日(水)

会合名	開催時間	会 場
神経科学教育委員会	11:00~12:00	4号館3階 会議室435
動物実験委員会	11:00~12:00	4号館3階 会議室433
時實賞昼食会	12:00~13:00	1号館3階 会議室131-132
大会小委員会	19:00~20:00	2号館3階 会議室231
成茂基金 授賞式・同窓会	18:30~20:30	名古屋国際会議場 展望レストラン「パステル」

9月20日(木)

会合名	開催時間	会 場
臨床連携WGミーティング	12:00~13:00	4号館3階 会議室435
科学コミュニケーション委員会	13:00~14:00	4号館3階 会議室433
将来計画委員会	13:00~14:00	2号館2階 会議室225

9月21日(金)

会合名	開催時間	会 場
NPO法人脳の世紀推進会議	12:00~13:00	1号館3階 会議室131-132
第36回日本神経科学大会 (Neuro2013)実行委員会	12:00~14:00	1号館3階 会議室133-134
広報委員会	13:00~14:00	4号館3階 会議室435
男女共同参画委員会	13:00~14:00	4号館3階 会議室433

16. プレスルーム

開設日時：9月18日(火)～21日(金) 場所：プレスルーム(4号館3階)

◆プレスルームの趣旨および取材条件

日本神経科学大会の社会への広報活動として、報道機関に対する積極的な情報発信を行います。そのために、大会の認める範囲で、来場した記者の会場内での円滑な取材活動と、さらに興味のある発表者と呼んでのインタビュー等の充実した取材活動を支援すべく、会場内に取材用のプレスルームを確保します。

取材のために来場した報道関係者は、総合案内にて記者証(フリーランスライターは身分証明書と過去に媒体掲載の記事数点のコピー)を提示確認した上で、プレス登録をしていただきます。会場内では、大会事務局で交付したプレスカードまたは腕章を装着して取材活動を行っていただきます。報道関係者には、対象となる研究発表者をプレスルームに招いて取材していただきます。プレスルーム内では、発表者の了解の上で撮影・録音・インタビューをお願いします。口演会場およびポスター会場での、撮影・録音・インタビューは原則として認めていません。また、取材情報の整理・起稿入稿などの作業を行う場としてプレスルームを提供します。

17. 市民公開講座

「脳とこころの健康科学」

日 時：9月15日(土) 14:00～16:40
会 場：テレピアホール(名古屋市東区東桜1-14-25)
主 催：第35回日本神経科学大会
共 催：脳科学研究戦略推進プログラム
包括型脳科学研究推進支援ネットワーク
後 援：中日新聞社
名古屋大学 脳とこころの研究センター

18. 若手研究者国際交流会

第35回日本神経科学大会では、将来日本の神経科学の世界で活躍することが期待される若手研究者の国際交流を目的として、学会期間中に国際交流会を開催します。第35回日本神経科学大会に演題登録の有無にかかわらず、大学院生、ポスドク、若手PIの中から交流会への国内参加者を募集します。

会 場：名古屋国際会議場 白鳥ホール
日 時：9月17日(月) 17:00～19:00(ポスター貼付けなど準備は16:00から)
※本大会開催前日に実施します。

参加者数：約100名(大学院生、学位取得のポスドク相当者、若手PI、助教相当職着任後5年以内の若手研究者(国籍、所属学会は問いません。海外への留学から一時帰国されている日本国若手研究者も応募可能です。))

参加費：無料

開催内容：Travel Award を受賞し来日した海外からの若手研究者と共に、ポスターを用いて研究の議論を行います。

1. 交流会では軽食を用意します。飲食をしながら、オープンな雰囲気の中、研究議論や自己紹介などを行います。また本大会に海外から参加するPIレベルの研究者がディスカッサーとして参加する予定なので、若手研究者のみでなく一流研究者とも交流を持つ事が出来ます。
2. 若手研修者国際交流会でポスター掲示を希望される場合は、本大会で発表するポスターと同一のもので構いません。
3. 本大会の一般口演で発表する内容を、若手研修者国際交流会でポスター掲示をしても構いません。
4. ポスター発表せずに、議論に参加していただくことも歓迎しています。

19. 抄録検索・スケジュール作成システムについて

今年からは、学会独自に構築した電子版英文抄録検索・閲覧システム「The JNS Meeting Planner」が導入されます。オンラインで全ての演題を、発表者名、所属、タイトル、抄録本文、発表形式、発表日時、会場などの項目から検索し、自分のスケジュールを作成することが出来ます。詳しい使用方法などは大会ホームページをご覧ください。

なお、大会終了後も引き続いて、学会ホームページより抄録は閲覧可能となります。

また、理化学研究所のニューロインフォマティクスチームが研究開発したRAST (Related Abstract Search Tools)や、ATRの開発チームによるiPhone用の抄録閲覧アプリも是非ご利用ください。

20. サテライト企画

1. 第23回 せいりけん市民講座 「発達障がい その今と未来を考える」

日 時：9月16日(日) 13:30~16:00

会 場：名古屋大学病院 中央診療棟講堂

主 催：名古屋大学医学部、自然科学研究機構 生理学研究所

共 催：文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」

後 援：愛知県

対 象：発達障がいのある子どもの家族、福祉・教育関係者、医療関係者

※未就学児の入場はできません。

入場料：無料 ※事前申込制

お申込方法：E-mailで必要事項をご記入の上、お申込みください。

なお、E-mailがご使用できない場合に限り、FAXまたはTELでも受け付けます。

(1) 代表者氏名、(2) 参加人数、(3) 関心のあることがあれば100文字以内でご記入ください。

(4) FAXとTELでお申し込みの方は連絡先電話番号もお知らせください。

Eメール：nagoya@nips.ac.jp TEL：0564-55-7803,7804

<http://www.nips.ac.jp/nipsquare/lecture/entry/2012/09/35.html>

2. 「包括脳MRI脳画像チュートリアル」

包括脳ネットワークによる技術支援活動の一環として脳科学研究者を対象とした脳画像研究チュートリアルを開催します。今回は、ヒト対象のVoxel-Based Morphometry(VBM)・拡散テンソル画像解析のコースに加え、高磁場MRI装置で得られたげっ歯類・マーモセットの画像解析について取り上げます。なお、講義は日本語で行われます。

日 時：9月17日(月) 13:00~17:00

会 場：名古屋大学医学部医系研究棟1号館・地下1階会議室

主 催：包括型脳科学研究推進支援ネットワーク 正常拠点・疾患拠点

共 催：新学術領域研究「精神機能の自己制御理解にもとづく思春期の人間形成支援学」

定 員：120名(定員に達し次第、締め切らせて頂きます)

参加費：無料 ※事前申込制

・座長：笠井 清登(東京大)

・講演者と演題

1. 「VBM入門」

根本 清貴(筑波大)

2. 「げっ歯類の高磁場MRI」

青木伊知男(放医研)

3. 「マーモセットの高磁場MRI」

疋島 啓吾(実中研/慶應大)

4. 「DTI入門① 撮像の実際とtractographyを用いた解析法の実際」

青木 茂樹(順天堂大)

5. 「DTI入門② TBSSの実際」

下地 啓五先生(順天堂大)

お問合せ先： 東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野内 包括脳チュートリアル事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL:03-5800-9263 FAX:03-5800-6894

E-mail:resource.center.disease@gmail.com

<http://cbsn-mri.umin.jp/tutorial.html#20120917tutorial>

3. 生理学研究所国際ワークショップ

Central Neuroplasticity in Sensory Emotional Link

「感覚と情動を結ぶ神経機構の可塑性」

日 程：9月13日(木)～15日(土)

会 場：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

愛知県岡崎市明大寺町字伝馬8-1

名鉄東岡崎駅下車 徒歩10分

主 催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所

代 表：加藤 総夫(東京慈恵会医科大学)

重本 隆一(自然科学研究機構 生理学研究所)

講 師：Volker Neugebauer (University of Texas Medical Branch)

Ron Stoop (Lausanne University)

Min Zhuo (University of Toronto)

Ming-Yuan Min (National Taiwan University)

Jossua Johansen (Riken-BSI)

南 雅文(北海道大学)

喜田 聡(東京農業大学)

福土 審(東北大学医学系研究科)

池田 和隆(東京都医学総合研究所)

ほか

趣 旨：

感覚の中でも、痛覚・嗅覚・味覚・内臓覚などの、個体の生存可能性を左右しうる情報をコードする感覚は、進化上早期に獲得され、その種の生存と繁栄に大いに貢献してきたものと想像される。それらによって伝えられる情報、特に、状況の有害性に関する情報は、それ自体で、あるいは、その他の感覚情報と連合され、生理学的にさまざまな応答を引き起こし、環境に対する最適な適応応答・行動を誘発する。ダーウィンはこのような機能を情動の起源ととらえた。このような有害性情報に対する適応応答は、ヒトを含む高等哺乳動物において、「情動」の基盤機構をなし、不安、うつ、恐怖、対人恐怖、社交不安障害、さらには、心的外傷後ストレス症候群などの臨床医学上の諸問題の背景にこのような原始的感覚情報に対する適応不全・過多がある可能性が指摘されている。その神経生物学的機構の理解は、これらの臨床医学的問題の解決の端緒を見出すうえでも必須である。

特に、このような感覚情報に対する環境適応の中核をなすのは、これらによって誘発される脳内のさまざまな神経回路の可塑的变化である。侵害受容を無条件刺激として扁桃体を中核機構として成立する恐怖条件応答や条件味覚嫌悪応答など、一般に「情動学習」として用いられている行動科学的パラダイムの本態は、さまざまな有害性情報をコードする感覚によって成立する、扁桃体や帯状回などの情動関連領域の可塑的变化である。

本研究集会においては、海外より当該領域において著明な成果を上げている第一線の4名の研究者を招き、また、本年より我が国を拠点として研究を進めている外国人研究者にも参加していただき、我が国における本分野のさらなる研究発展と国際交流を目指す。

定員：70名程度(先着順)

お問合せ先：小鹿 郁子(生理研・脳形態解析研究部門 0564-59-5278)

加藤 総夫(慈恵医大・神経生理学 03-3433-1111 内線2396)

4. 第4回 光操作研究会 動作原理の理解と行動制御への応用

日程：9月27日(木)～28日(金)

場所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター
(〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町西郷中38)

代表者：能瀬 聡直(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

山中 章弘(名古屋大学 環境医学研究所)

支援団体：新学術領域研究 「包括型脳科学推進支援ネットワーク 育成支援」

新学術領域研究 「包括型脳科学推進支援ネットワーク 脳機能プロビング研究支援」

新学術領域研究 「神経系の動作原理を明らかにするためのシステム分子行動学」

新学術領域研究 「メゾスコピック神経回路から探る脳の情報処理基盤」

研究会の概要:

岡崎コンファレンスセンターにおきまして、オプトジェネティクスに関連する研究会、情報交換会を行います。今回で第4回目となります。今回は生物物理学のシンポジストを迎えて構造の理解を深めること、ポスター発表を設けて情報交換をより濃密に行うこととしました。また、学生・大学院生・ポスドクには旅費の支援がありますので、奮ってご応募下さい。尚、旅費の支援には限りがあるため、応募者多数の場合にはご希望に添えない場合もあることをご了承下さい。プログラムは研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.nips.ac.jp/~amane/optical2012/>

申し込み：事前登録が必要です。以下のURLから登録を行ってください。

<http://www.nips.ac.jp/~amane/optical2012/regist.html>

連絡先問い合わせ先:

山中 章弘(名古屋大学 環境医学研究所)

野村 Tel. 052-789-3864 Fax 052-789-3889 E-mail: nomura@riem.nagoya-u.ac.jp

5. 男女共同参画企画 ランチタイムミニシンポジウム

「女性を活かして科学を活性化」

日時：9月19日(水) 12:00～13:00

会場：名古屋国際会議場 1号館3階 会議室133-4

企画：富永真琴(岡崎統合バイオサイエンスセンター)

西 真弓(奈良県立医科大学)

話題提供者：東村 博子(名古屋大学大学院生命農学研究科)

6. 新学術領域「エンドフェノタイプによる精神病態学の創出」

キックオフシンポジウム・公募研究説明会

会場：名古屋国際会議場1号館3階 会議室131+132

日時：9月19日(水) 18:30～21:10

参加予定人数：100名

参加対象者：第35回日本神経科学学会の参加登録が無くとも本サテライトシンポジウムに参加できますが、学会の公式プログラムには参加できません

主催：科研費 新学術領域「マイクロ精神病態」総括班

座長：喜田 聡(東京農業大学)、加藤忠史(理研BSI)

シンポジスト：吉川武男(理研)・林(高木)朗子(東大)・廣瀬謙造(東大)・加藤忠史(理研)
橋本謙二(千葉大)・富田博秋(東北大)・喜田聡(東京農大)・岩本和也(東大)
那波宏之(新潟大)

新学術領域「マイクロ精神病態」発足にあたり、領域における研究目的と内容を説明し、新領域に対する基礎研究者の理解を求めます。さらに、公募研究募集に際して公募要領の説明を行います。

お問合せ先：

新学術領域「マイクロ精神病態」総括班事務局

領域代表 喜田聡(東京農業大学応用生物科学部、 micro@nodai.ac.jp、Tel: 03-5477-2318)

21. 「Job Matching」

Job Matchingとは、現在求人中の方と、求職中の方が互いに大会への参加の機会を利用して、面接や情報交換を行える場です。

第35回日本神経科学大会では無償でJob Matchingの機会を提供する取り組みを行います。

日時：9月18日(火)～21日(金) 10:00～17:00

会場：名古屋国際会議場 2号館2階会議室221「Job Matchingコーナー」

Job Matchingへの求人情報掲載をご希望される方へ

本大会(名古屋)ではJob Matchingのためのスペースを用意する予定です。求人側と求職側の面談の場として活用していただければ幸いです。あまり広くない部屋ですが、衝立で仕切ったスペースを3区画程度ご用意しております。

ご利用を希望される方は、日本神経科学学会事務局デスク(1号館1階アトリウム)までお問い合わせください。

特別企画のご案内

本大会では、通常プログラムの他に、本大会の特色の一つである「国際化」を反映した、様々な海外の学会、機関と連携した特別プログラム(シンポジウム)を企画しております。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 科学コミュニケーション委員会企画シンポジウム

日 時：9月18日(火) 9:00~11:30

場 所：J会場(2号館1階 展示室211)

テ ー マ：神経科学と社会とのコミュニケーション

神経科学の急速な発展と、その応用の範囲の広さは、一般社会との間で多様な接点を新たに生み出しています。アウトリーチ活動、メディアへの対応、初等中等教育への関わりなどは、これまでは、個々の研究者に任されてきましたが、研究者の集団としての学会の社会的な責任は増してきています。当該研究分野を代表する学会として、社会との関わりについて統一的なガイドラインの策定や、今後の対応について、広く討議する場を設けたいと考えています。

1. 脳神経科学とメディア
2. 初等中等教育と脳神経科学 —研究者による出前授業の取り組み—
3. 望ましい科学コミュニケーションとはどのようなものか? —学会によるガイドラインの策定へ向けて—

2. 日加合同シンポジウム

日 時：9月19日(水) 8:30~11:00

場 所：G会場(2号館3階 会議室232-3)

テ ー マ：薬物依存による分子的・機能的変化

薬物依存は個人的な問題に留まらず、社会的な問題となっています。その発症の機序の解明が行なわれていますが、多くは動物レベルの研究に留まっており、薬物乱用による分子のおよび機能的な変化について臨床と関連付けた研究が必須です。今回は基礎、臨床の研究者を同じテーブルに集めて、臨床応用に繋がるような情報の場を提供します。日本・カナダ研究者共同のシンポジウムは過去3年にわたって行なわれてきておりますので、それを発展させます。

1. Links between long-term depression of synaptic activity and modulation of addictive behavior.
2. 覚せい剤依存動物モデルにおけるTNF- α の抑制効果
3. 薬物依存およびアルコール依存におけるGIRKチャネルの関わり
4. Alcohol, Nicotine, Amphetamine and Cocaine: Dopamine and Addiction in Humans

3. 男女共同参画推進委員会企画シンポジウム

日 時：9月19日(水) 8:30~11:00

場 所：H会場(2号館2階 会議室224)

テ ー マ：神経科学のホットトピックス：次世代の担い手による最先端脳科学

神経科学の分野で活躍し、将来研究を牽引していく可能性のある若手女性研究者を選び、研究内容を紹介します。それらの研究のすばらしさを発表するチャンスを与えると共に、聴衆にとっても刺激となり励みとなる機会を演出したいと考えています。

1. 神経回路形成におけるR-Rasサブファミリーの役割
2. Ca²⁺依存性のリン酸化カスケードの新機能
3. 質量分析イメージングを用いたユビキチンリガーゼSCRAPPERの解析
4. 小脳長期抑圧の時間相調節
5. 生体Ca²⁺ imagingを用いた線虫運動出力系の調節機構の解明
6. 概日時計と温度感覚の新規制御機構

4. 日本・中国神経科学学会合同シンポジウム

日 時：9月20日(木) 8:30~11:00

場 所：C会場(1号館4階 会議室141-2)

テ ー マ：アジア神経科学の最前線

日本は20世紀後半の科学技術の進展に大きく貢献し、特に脳神経科学においては、神経生理学、神経解剖学、神経生化学、神経薬理学、分子神経生物学、システム神経科学などで、アジアで顕著な役割を果たしてきました。21世紀に入ってからは、中国における脳神経科学の発展が目を見張るものがあります。その進展を受け止め、本シンポジウムでは、日中の神経科学学会のフロントランナーたちが、最先端における成果を発表し、これからの神経科学における日中交流の意義について議論を深めます。

1. プルキンエ細胞樹状突起にみられるパターン形成のダイナミクスと原理
2. Function of the cadherin/catenin cell adhesion complex during dendrite development and neural circuit formation
3. サル視覚皮質における光沢の表現
4. Two pairs of neurons control Drosophila larval light preference

5. 将来計画委員会・臨床連携WG合同企画「基礎-臨床統合シンポジウム」

日 時：9月20日(木) 8:30~11:00

場 所：D会場(3号館3階 国際会議室)

テ ー マ：2022年のBMIとニューロフィードバック

ブレインマシンインターフェースとそれを用いたニューロフィードバック手技は、疾患や事故などで失われた運動機能や認知機能を改善させるための、これまでにない新しい有効なツールであると期待されています。この研究開発は、脳科学、工学、臨床医学等の融合領域にあり、最先端研究者が共同で取り組む必要があります。

特に1990年代後半から始まるBMI/ニューロフィードバック関連の研究は目覚ましい進展を見せ、すでに臨床試験に進んでいるものもあります。それらの試みは多様で、一つの手法が全てのヒトに使えるとは

限りません。つまり、再建すべき機能や目的毎に、個別研究が行われているのが現状です。このままでは各分野が細分化され、融合領域としての特質を維持することが困難になりかねません。

そこで、本シンポジウムでは、各分野で最先端の研究を行なっている研究者と若手研究者に、それぞれの立場からの現状報告とこれから10年間に行うべき研究の方向性・到達目標、そしてその問題点、さらには解決の見通しを語ってもらいます。

それにより、今後10年間の同分野の研究の方向性を俯瞰し、2022年までの間にどのような分野間共同研究を行い、どのようにリソースやツールの共有と成果の有機的統合をしていくべきかを議論し、さらには現在BMI/ニューロフィードバック技術を必要としている方々の生活がどのようなものになるのかの未来予測を通じた出口の明確化を行いたいと考えます。

1. BMIの現状と今後10年の展望
2. Scalable interactive brain communication interface
3. デコーデッドニューロフィードバックにより引き起こされる行動変容
4. Bringing the world of touch to brain-machine interfaces

6. エルゼビア /NSR 協賛シンポジウム

日 時：9月21日（金） 15：30～18：00

場 所：F会場（2号館3階 会議室234）

テ ー マ：脳・脊髄損傷からの回復機構の多元的理解

脳・脊髄損傷後の機能回復メカニズムの背景として、分子・細胞レベルからシステムレベルにわたる中枢神経系の大規模な可塑的变化があると考えられます。本シンポジウムでは、脳・脊髄損傷モデル動物を用いた最新の研究成果を発表します。発表内容には齧歯類モデルと霊長類モデルの両者から得られた、ミクロレベルからマクロレベルに至る知見が含まれ、機能回復メカニズムに関する多元的理解が進むことが期待できます。

1. iPS細胞などリプログラミング技術を用いた中枢神経系の再生医療の開発
2. ヒト歯髄幹細胞の多面的神経再生効果をもちいた新しい脊髄損傷治療法の開発
3. マカクサル運動野損傷後の運動訓練による巧緻動作回復とその背景にある神経基盤
4. 脊髄損傷後の機能代償過程の神経基盤と修飾因子
5. Multi-system neuroprosthetic training: activity-driven spinal cord repair

List of the Awardees 各賞受賞者

Tsukahara Award 塚原仲晃賞受賞記念講演

■ Hiroki R. Ueda (上田 泰己)

Laboratory for Systems Biology, RIKEN CDB

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

Tuesday, September 18 15:30 ~ 16:10 RoomA

Session No. : AL1-1

Title : Systems and Synthetic Biology of Mammalian Circadian Clocks
哺乳類概日時計のシステム生物学・合成生物学

■ Yoshiki Sasai (笹井 芳樹)

Organogenesis and Neurogenesis Group, Center for Developmental Biology, RIKEN

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

Tuesday, September 18 16:10 ~ 16:50 RoomA

Session No. : AL1-2

Title : Hypothetic models for pattern formation in neural development
神経発生におけるパターン形成の仮説とモデル

Tokizane Award 時實利彦賞受賞記念講演

■ Michisuke Yuzaki (柚崎 通介)

Department of Physiology, School of Medicine, Keio University

慶應義塾大学大学院医学研究科 生理系専攻 生理学

Wednesday, September 19 15:30 ~ 16:10 RoomA

Session No. : AL2-1

Title : How is functional and morphological synaptic plasticity achieved in the cerebellum?
シナプスの機能と形態はどのように制御されるのか? —小脳をモデルとして

■ Tatsushi Toda (戸田 達史)

Division of Neurology/Molecular Brain Science, Kobe University Graduate School of Medicine

神戸大学大学院医学研究科神経内科学/分子脳科学

Wednesday, September 19 16:10 ~ 16:50 RoomA

Session No. : AL2-2

Title : Genetic and pathological analysis on human neurological disorders
福山型筋ジストロフィー、パーキンソン病をはじめとする神経疾患の遺伝学的解析・病態治療解析

Japan Neuroscience Society Young Investigator Award

日本神経科学学会 奨励賞受賞者

■ Azusa Kamikouchi (上川内 あづさ)

Division of Biological Science, Graduate School of Science, Nagoya University

名古屋大学 大学院理学研究科 生命理学専攻

Title : Neuronal encoding of sound and gravity in the fruit-fly brain

ショウジョウバエの脳における音と重力情報の符号化様式

■ Atsushi Kuhara (久原 篤)

Konan University, Faculty of Science and Engineering, Department of Biology

甲南大学 理工学部 生物学科

Title : Neuromechanism for temperature response

温度応答の分子神経メカニズム

■ Takuya Sasaki (佐々木 拓哉)

JSPS research fellow, Division of Cerebral Structure, National Institute for Physiological Sciences

自然科学研究機構 生理学研究所 脳形態解析研究部門 学振特別研究員

Title : Interaction between neuronal axons and astrocytes

神経軸索 - アストロサイト間の相互作用の解明

■ Hidehiko Takahashi (高橋 英彦)

Department of Psychiatry, Kyoto University Graduate, School of Medicine

京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学教室

Title : Interdisciplinary neuroscientific studies of social emotions and decision-making

社会的情動および意思決定に関する学際的神経科学研究

■ Seiji Tanabe (田辺 誠司)

Albert Einstein College of Medicine, Yeshiva University

Title : Mechanisms for solving the stereo correspondence problem in the visual cortex

大脳皮質視覚野における両眼対応計算のメカニズム

(Names are listed alphabetically)

(アルファベット順；敬称略)

Candidates of the Travel Awardees

※ listed in alphabetical order

■ Mehdi Abouzari (Iran)

School of Cognitive Sciences (SCS), Institute for Research in Fundamental Sciences (IPM), Tehran, Iran

Session No. : P2-g08

Title : Hjorth Descriptors: A New Measurement for Quantifying Excitatory Synaptic Transmission

■ Sina Asaadi (Iran)

Neuroscience Research Center, Shahid Beheshti University of Medical Science, Tehran, Iran

Session No. : P1-a10

Title : Paxilline attenuates antiseizure effect of cannabinoid CB1 receptor agonist in maximal electroshock-induced seizure model in male mice

■ Hassan Azhdari Zarmehri (Iran)

Cellular and Molecular Research Center, Dept Physiology, Qazvin Univ of Med Sci, Qazvin, Iran

Session No. : O4-D-57-2

Title : Opioid tolerance and dependence: role of orexin receptor 1

■ Felix F Benninger (Israel)

Department of Neurology, Beilinson Hospital, Rabin Medical Center, Sackler Faculty of Medicine, Tel Aviv University, Petach Tik

Session No. : O4-I-67-2

Title : Zinc Upregulates T-type Calcium Current in the in vivo Hippocampus

■ Muhammad Shahdaat Bin Sayeed (Bangladesh)

Department of Clinical Pharmacy and Pharmacology, University of Dhaka, Bangladesh

Session No. : O2-E-22-2

Title : ARSENOSUGAR INDUCED BLOOD AND BRAIN OXIDATIVE STRESS, DNA DAMAGE AND NEUROBEHAVIORAL IMPAIRMENTS

■ Judith H Bird (New Zealand)

Department of Psychology, Victoria University, Wellington, New Zealand

Session No. : P4-k09

Title : Contribution of impulsivity and novelty-seeking to the acquisition and maintenance of MDMA self-administration

■ Basha Davuljigari Chand (India)

Department of Zoology, Sri Venkateswara University, Tirupati, India - 517 502.

Session No. : P1-I17

Title : Long term changes in aminergic system and behavior following lead exposure: Protection with essential metal supplements

■ Shaista Chaudhary (India)

Department of Toxicology, Jamia Hamdard (Hamdard University), New Delhi 110062, INDIA

Session No. : P1-I18

Title : Neurotoxicological implications of valproic acid for inducing oxidative stress in cerebral cortex and cerebellum of young rats

■ Ben Chen (China)

Institutes of Brain Science and State Key Laboratory for Medical Neurobiology, Fudan University, Shanghai 200032, China

Session No. : P1-m01

Title : Both NMDA and non-NMDA receptors mediate glutamate stimulation induced cofilin rod formation which blocks dendrite transport in cultured hippocampal neurons

■ Lulan Chen (China)

Institute of Brain Sciences, Fudan University

Session No. : P4-j20

Title : Down regulation of chloride cotransporter KCC2 involves in CTZ induced epilepsy

■ Hee soon Choi (Republic of Korea (S))

Department of Pharmacology, College of medicine, Seoul National University, Seoul, Republic of Korea

Session No. : P3-e10

Title : Phosphorylation of α -synuclein is crucial in compensating for proteasomal dysfunction.

■ Tanya Dash (India)

Centre of Behavioural and Cognitive Sciences

Session No. : P1-i12

Title : Neuro-cognitive correlates of language control and cognitive control in relation to bilingual language proficiency: Evidence from negative priming paradigm.

■ Elmira Ghasemi Dashkasan (Iran)

Cellular and Molecular Research Center, Qazvin University of Medical Science, Qazvin, Iran

Session No. : P4-a14

Title : Repeated intracerebroventricular microinjection of orexin-A develop of behavioral tolerance to its analgesic effects in rat

■ Yuying Huang (China)

Institutes of Brain Science, Fudan University, ShangHai, China

Session No. : P3-f12

Title : Ubiquitin-proteasome system mediated regulation of activity-dependent synaptic plasticity and its effect on calcineurin(PP2B)

■ Mohammad Jahanbakhshi (Iran)

Neuroscience Research Center, Shahid Beheshti University of Medical Sciences, Tehran, Iran

Session No. : O4-I-67-3

Title : Paxilline attenuates antiseizure effect of cannabinoid CB1 receptor agonist in Pentylentetrazol-induced seizure model in male mice

■ **Taegon Kim (Republic of Korea (S))**

Korea Institute of Science and Technology

Session No. : P3-f25

Title : Biophysical approach of mechanisms underlying stability of postsynaptic GluA2 level

■ **Narisorn Kitiyanant (Thailand)**

Stem Cell Research Group, Institute of Molecular Biosciences, Mahidol University, Thailand

Session No. : P1-b34

Title : Phosphoproteomic analysis of caffeine-treated neural progenitor cells

■ **Alireza Komaki (Iran)**

Department of Physiology, School of Medicine, Hamadan University of Medical Sciences, Hamadan, Iran

Session No. : P1-a17

Title : Effects of exposure to a low-frequency magnetic field on hippocampal long-term potentiation in rat

■ **Masoumeh Kourosch Arami (Iran)**

Tarbiat Modares University

Session No. : P4-b15

Title : Long-term synaptic plasticity at cortico-geniculate projection neurons in layer VI of the mouse visual cortex

■ **Pardeep Kumar (India)**

Jawaharlal Nehru University, New Delhi, India

Session No. : O1-F-8-4

Title : Neuroprotective effects of 17 β -estradiol against the neurotoxic effects of β -amyloid (25-35) in aging rat brain.

■ **Dongwon Lee (Republic of Korea (S))**

Korea Institute of Science and Technology, Seoul, Korea

Session No. : P2-f19

Title : Role of DGK ζ in the regulation of cerebellar Purkinje cell synapses

■ **Yaara Lefler (Israel)**

Hebrew University of Jerusalem, Jerusalem, Israel

Session No. : P3-e02

Title : Light stimulation of Inferior Olive cells in-vitro using channel-rhodopsin2 mutant mice.

■ **Yi Lin (China)**

Institute of Neurology, Department of Neurology, First Affiliated Hospital of Fujian Medical University, Fuzhou, China

Session No. : P1-l19

Title : Effects of TAT-mediated delivery of neuroglobin on mitochondrial function and apoptosis following hypoxic/ischemic insult in cultured neurons

■ Chun-Wai Ma (China)

Department of Physiology, The University of Hong Kong

Session No. : P4-b16

Title : Neuronal Proheparanase Regulates Synaptic Plasticity of the Hippocampus

■ Waseem Mohammad (India)

Department of Toxicology, Jamia Hamdard (Hamdard University), New Delhi 110062, INDIA

Session No. : P1-l20

Title : Oxidative stress mediated oxaliplatin induced neuronal mitochondrial toxicity

■ Maryam Moosavi (Iran)

Shiraz University of Medical Sciences

Session No. : P4-b17

Title : The changes of CaMKII phosphorylation during water maze memory acquisition and consolidation

■ Ramesh Balenahalli Narasingappa (Thailand)

Research Center for Neuroscience, Institute of Molecular Biosciences, Mahidol University

Session No. : O1-F-8-3

Title : Abeta(42) induced MRI changes in aged rabbit brain resembles Alzheimer's disease brain

■ Fatima M Nathan (Malaysia)

Monash University Sunway Campus

Session No. : P2-h12

Title : Role of Kiss1 in Serotonergic Modulation in the Zebrafish

■ Govindaraj Periyasamy (India)

Centre for Cellular and Molecular Biology (CSIR), Hyderabad 500 007, India

Session No. : O1-I-17-2

Title : Mitochondrial DNA variations in Madras Motor Neuron Disease

■ Abolfazl Rahmani (Iran)

Cellular and Molecular Research Center, Qazvin University of Medical Sciences, Qazvin, Iran

Session No. : P2-f20

Title : Repeated intracerebroventricularly microinjection of orexin-A induced cross-tolerance to analgesic effects of morphine in rats

■ Roman Rozengurt (Israel)

Gonda Multidisciplinary Brain Research Center at Bar-Ilan University

Session No. : P1-j04

Title : EEG NEUROFEEDBACK IMPROVES MOTOR LEARNING

■ Abhishek K Singh (India)

CSIR-Indian Institute of Toxicology Research, Lucknow, INDIA

Session No. : P1-b33

Title : 3-methyl cholanthrene induces the expression of cytochrome P450s and apoptosis in differentiating neuronal cells derived from cord blood CD34+ stem cells

■ **Ioannis Sotiropoulos (Germany)**

Max Planck Institute of Psychiatry, Munich, Germany

Session No. : O1-F-8-1

Title : NOVEL MECHANISMS OF STRESS-EVOKED MOOD AND COGNITIVE IMPAIRMENT - THE PATH FROM DEPRESSION TO ALZHEIMER'S DISEASE

■ **Zahra Taslimi (Iran)**

Neuroscience Research Center, Shahid Beheshti University of Medical Sciences, Tehran, Iran

Session No. : P1-h17

Title : Changes of ERK phosphorylation and c-fos in the ventral tegmental area, prefrontal cortex and hippocampus after lateral hypothalamus stimulation-induced conditioned place preference in rats

■ **Dionis Teshler (Israel)**

School of Physics and Astronomy, Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel

Session No. : P4-n09

Title : Non-Linear Gap Junctions Render Clusters of Interneurons into Gamma Pattern Generators

■ **Orphan Wanakhachornkrai (Thailand)**

Inter-disciplinary program of Physiology, Graduate School, Chulalongkorn Univ., Thailand.

Session No. : P1-c17

Title : Reorganization of somatosensory system after hemidecortication in neonatal rats.

■ **Hang-Jing Wu (China)**

Institutes of Brain Science, Fudan University, Shanghai, China

Session No. : P2-n05

Title : Dopamine D1 receptor-mediated upregulation of BK_{Ca} currents in retinal Muller cell in a rat experimental glaucomatous model

■ **Jia-le Yang (China)**

Institutes of Neurobiology, Fudan University

Session No. : O2-I-36-4

Title : Gabapentin blocks spinal glial activation by attenuating calcium channel alpha2/delta-1 subunit and CX3CL1/CX3CR1 signaling in monoarthritic rats

■ **Amit Yaron (Israel)**

Department of neuroscience, ICNC and ELSC, Hebrew University, Jerusalem, Israel

Session No. : P4-f09

Title : Sensitivity to complex statistical regularities in rat auditory cortex

■ **PingAn YuanXiang (China)**

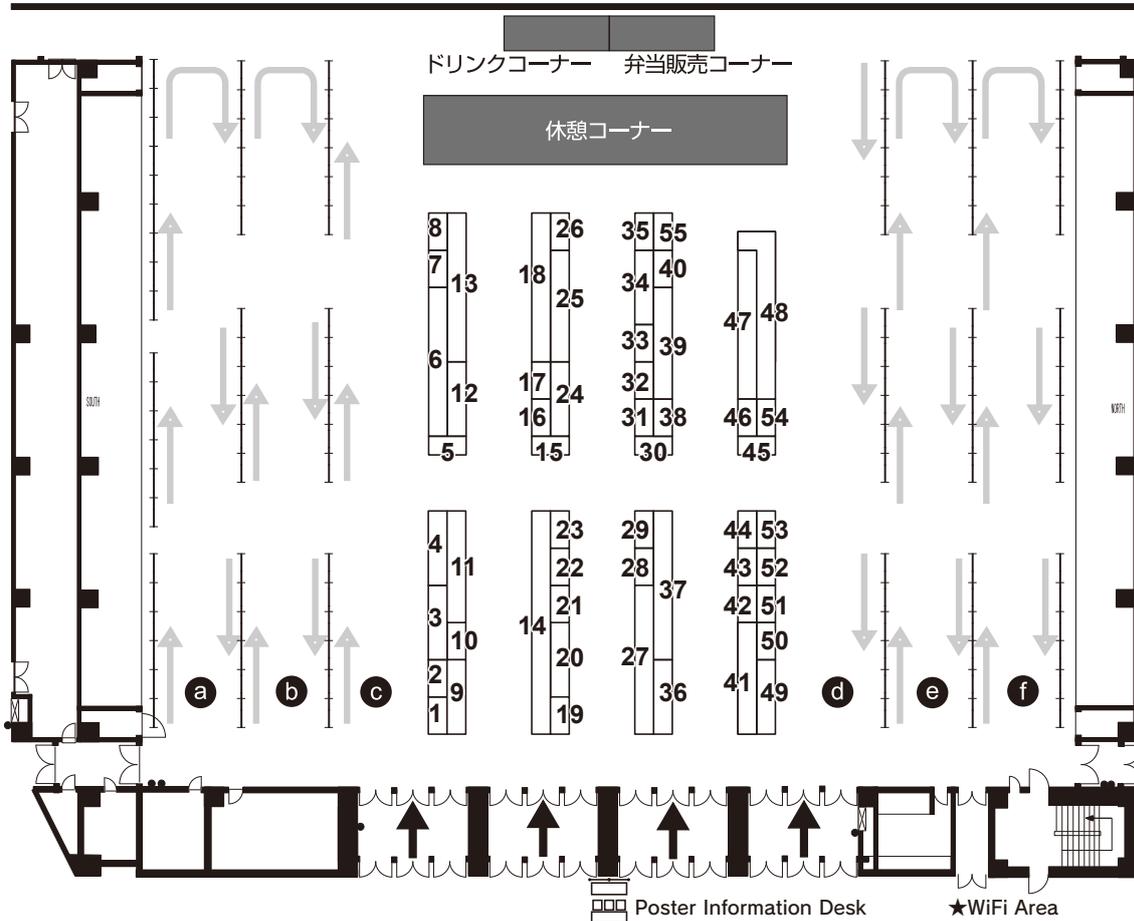
Institutes of Brain Science, Fudan University, Shanghai, P.R.China

Session No. : P3-f13

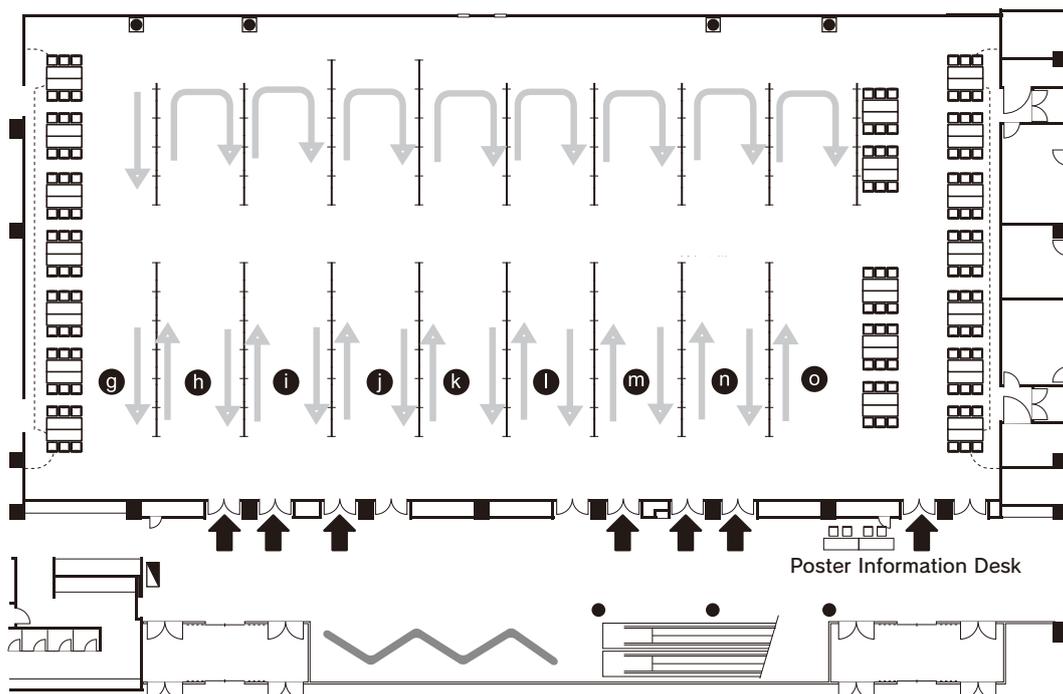
Title : Role of Jacob in synapto-nuclear communication of activity-dependent synaptic plasticity

Floor Plans of Posters & Exhibition ポスター・展示会場図

1号館1F イベントホール Event Hall (1F, Bldg.1)



4号館1F 白鳥ホール Shirotori Hall (1F, Bldg.4)





第36回日本神経科学大会 第56回日本神経化学会大会 第23回日本神経回路学会大会 合同大会
第11回世界生物学的精神医学会/ The 11th World Federation of Societies of
Biological Psychiatry (WFSBP) 6月23日-27日(同会場)との連携開催

会期 2013年6月20日(木)~23日(日) **会場** 国立京都国際会館

大会長 第36回日本神経科学大会 加藤 忠史(理化学研究所脳科学総合研究センター)
第56回日本神経化学会大会 木山 博資(名古屋大学大学院医学系研究科)
第23回日本神経回路学会大会 五味 裕章(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

プログラム概要(予定)

I. プレナリーレクチャー(予定) ※アルファベット順

Prof. Fred H. Gage

Laboratory of Genetics, Salk Institute

Prof. Maiken Nedergaard

University of Rochester Medical Center

Prof. Miguel A.L. Nicolelis

Duke University Medical Center

Prof. Thomas C. Südhof

Stanford University School of Medicine; Howard Hughes Medical Institute

II. シンポジウム

各学会企画シンポジウム

プログラム委員会企画シンポジウム

公募シンポジウム

日本生物学的精神医学会との共催レクチャー

World Federation of Societies of Biological Psychiatry (WFSBP) との共催シンポジウム

III. 受賞講演

塚原賞受賞講演(日本神経科学学会)

時実賞受賞講演(日本神経科学学会)

日本神経化学会最優秀奨励賞受賞講演(日本神経化学会)

IV. 一般口演・ポスター発表

募集開始: 2012年11月1日(木) (予定)

募集締切: 2013年1月中旬(予定)

V. 共催セミナー 募集中

VI. 機器・書籍展示 募集中

VII. サテライトシンポジウム

トラベルアワード実施

大会事務局

Neuro2013 大会事務局

株式会社コングレ内 〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル Tel: 03-5216-5318 / Fax: 03-5216-5552